



**令和5年度「デジタルツールを活用した自治会活動」  
 モデル事業の実施について**

現在「スマートチャレンジくれ」の取組の一つとして、また第4次呉市行政改革実施計画の取組項目として、「ICTの活用による自治会役員の負担軽減策」について検討を進めております。

この取組の一環として、昨年度に引き続き、モデル事業の募集を行ったところ、次のとおりモデル事業に参加する団体が決定し、実施する運びとなりましたのでお知らせいたします。

**【モデル事業の概要】**

自治会活動の支援につながるデジタルツールを、参加意欲のある自治会に一定期間試験利用していただき、今後の団体運営の実装モデルとなる可能性を検証することを目的として実施します。なお、試験利用を通じて、有効性や課題についてのアンケートにご協力いただきます。

**1 実施団体（受付順）**

受付番号	地区	団体名	使用するツール	団体の規模	新規
1	音戸	音戸町早瀬区自治会	結ネット	約300世帯	
2	第6	北迫町自治会	結ネット	約100世帯	
3	安浦	安浦町女子畑自治会	結ネット	約150世帯	○

**2 実施スケジュール（今後の予定含む）**

- 4月上旬～5月中旬 モデル事業への参加団体の募集
- 5月下旬 実施団体の決定
- 5月下旬～6月下旬 実施に向けた協議の実施
- 7月上旬～ 準備が整った団体から試験利用を開始
- ※新規団体については、試験利用開始前に管理者（運営者）向けの操作説明会、住民向けの操作説明会を開催
- ※3月まで試験利用した後、アンケートを実施

**3 その他**

モデル事業の実施に必要なデジタルツールの利用料等は、スマートチャレンジくれの実証事業予算において対応します。

また、使用するツールは、実施団体から希望のあったものを採用しています。